

さすらい (1957)

IL GRIDO

メディア 映画

ジャンル ドラマ

製作国 イタリア／アメリカ

色彩 B&W

時間 102分

初公開日 1959/04/12

公開情報 新外映=イタリ

【解説】

アントニオーニが日本に初めて紹介された作品だが、監督としては第6作目にあたる。例の虚無的ムードはもうバッヂリ全開であるものの、まだどこかネオリアリスム的なウェットさが残っていて、その後の諸作よりか幾分親しみが持てる内容となっている。北イタリア、ポー河流域の精糖工場で働くアルド（コクラン）は、夫が豪州に行ったきりのイルマ（ヴァリ）と同棲し、六歳になる娘まで儲けていた。その夫が死んだとの通知があり、いよいよ結婚できると勇むアルドに、イルマは、もう愛は消えたと冷たく言い放つ。彼と娘はあてのない旅に出るが、どこへ行っても満たされぬ想いを抱いて、結局、元いた町に舞い戻ってきてしまう……。内縁の妻に捨てられた男の放浪と悲劇的結末（そこにアイロニーやペーススは存在しない）は、現在の観客が見てもなおショッキングなはずだ。

【クレジット】

監督	ミケランジェロ・アントニオーニ	Michelangelo Antonioni	
製作	フランコ・カンチェリエーリ	Franco Cancellieri	
製作総指揮	ラルフ・ピント	Ralph Pinto	
脚本	エンニオ・デ・コンチーニ エリオ・バルトリーニ	Ennio de Concini Elio Bartolini	
	ミケランジェロ・アントニオーニ	Michelangelo Antonioni	
撮影	ジャンニ・ディ・ヴェナンツオ	Gianni Di Venanzo	
編集	エラルド・ダ・ローマ	Eraldo Da Roma	
音楽	ジョヴァンニ・フスコ	Giovanni Fusco	
出演	スティーヴ・コクラン アリダ・ヴァリ ドリアン・グレイ ベツィ・ブレア リン・ショウ ガブリエラ・パロッティ	Steve Cochran Alida Valli Dorian Gray Betsy Blair Lynn Shaw Gabriella Pallotti	アルド イルマ ヴィルジニア エルヴィア アンドレイナ エデラ